

## 第10回環境教育・環境学習ネットワーク会議議事録要旨

日 時：平成25年3月12日（火） 15:00～17:00

場 所：市役所3号館3階302会議室

出席委員：高橋会長、鈴木副会長、宇佐美委員、内船委員、高橋直人委員、高橋  
正明委員、瀧上委員、野崎委員、原口委員、依田委員（10名）

事務局：環境政策部環境企画課（小澤課長、笠原主査、中丸主任、高橋）

傍聴：1名

### ◆ 会議の流れ

#### 1 開会

#### 2 意見交換

（1）相互交流講座（12月20日開催、2月1日開催）参加委員の感想等

#### 3 議題

（1）平成25年度のトライアル事業「相互交流を生かした人材育成講座」について

（2）平成25年度環境教育・環境学習の学校向け事業紹介資料について

#### 4 その他

### ◆ 意見交換

（1）相互交流講座参加委員の感想等【委員からの発表】

平成24年12月20日及び平成25年2月1日実施のトライアル事業相互交流を生かした人材育成講座について、参加した委員の感想等意見の交換を行った。

[参考]

講座2：「学校のカリキュラム、学校における環境学習の現状」（平成24年12月20日）

①内容 ・学校教育における環境教育の位置づけや、教員への研修制度など、環境教育全体に関連した制度の解説。

・環境学習の実践例を紹介。学校現場で環境教育に取り組むにあたっての課題や、外部講師との調整事項等も併せて紹介。

②講師 教育委員会事務局学校管理部教育指導課 宇佐美暁指導主事  
横須賀市立津久井小学校 橘恒仁教諭

③対象 学校において環境教育を実施している又は予定のある市民活動団体、企業、市職員（37名）

講座3：「企業における環境活動の取り組み」（平成25年2月1日）

①内容 企業における環境活動の取り組みの紹介及び施設見学

②講師 株式会社東芝 横浜事業所職員

### ③対象 市職員、ネットワーク会議委員（12名）

#### 高橋会長

では、議題に入る前にこれまで行われた、相互交流講座について意見、感想をお聞きしたい。まずは12月20日、講演会が行われた「学校のカリキュラム、学校における環境学習の現状について」何か感想や参考意見があればお願いしたい。はじめに講師を務めた宇佐美委員から一言お願いしたい。

#### 宇佐美委員

学校の現状はなかなか伝わりづらいと思うので、機会をいただいたことはありがたかった。橘委員が実際に実践したことを発表したことで、こちらの委員の方々にも活躍いただいていることを公にでき、とてもいい機会になった。

#### 高橋会長

橘委員は今、教育研究所に勤めているが、学校にいらした時には地元の方と一緒に活動されていた。先生が教育研究所に移られてもそれを次の先生にバトンタッチされており、次の学年も地域の方と一緒に、武山ハイキングコースの不法投棄のゴミ対策に取り組んでいて、とてもいい例だと思う。

#### 高橋正明委員

橘委員の素晴らしい発表に感銘した。冬から夏そして秋と年間を通して自然の観察と、それに対してそれぞれ専門の方に来ていただいて、自然のことや生物のことについて勉強していくことで、非常に素晴らしい実践をされたと思う。

しかし、野外活動をするときには、校長の許可や時間の調整、他の教科との調整などを先生自身がやらなければならないということだった。そうすると、情熱がないとなかなかできないのではないかな。もう少しハードルを低くして、何か仕組みができると、やりやすくなるだろう。今後、そういったところも、考えていくといいのではないかな。

#### 高橋会長

それに関して原口委員いかがか。

#### 原口委員

橘委員の熱意が非常に大きいと感じた。一方で、そうした熱意に対して応える若手の先生が増えてきたことも事実としてある。派遣授業の事例集でも、津久井小学校の他の先生が、取り組んでいる実践がある。橘先生のハードルは高いが、こうした実践を発表する場を設けたり、教員同士で広めることによって、こうしたやり方もあるのかと、実践が繋がっ

ていくといいと思う。最近は色々な事故などもあり、管理職の許可が必要になるが、学校の方である程度マニュアル化できればハードルが低くなると思うので、取組みが広がっていくように検討していきたいと思う。

### 高橋会長

それに関連した話だが、平成 23 年度に城北小学校 3 年生を平作川に案内した。今年度 4 年生になり、クラス替えがあったのだが、3 年生の時に体験した児童から「昨年良かったので、同じことをもう一回やってもらいたい」と先生に願い出て、先生から依頼があり昨年実施したことがあった。先生の熱意もあるが、子どもたちの働きかけを先生が取り入れてくれた例もあった。

それでは、次に 2 月 1 日に行われた、東芝横浜事業所の見学会へ移る。配付された参考資料を読ませていただいたが、質問や感想など充実した見学会だったのではないかな。

### 野崎委員

ラグーンは、企業の製造現場の中で排出される水の処理の過程として位置づけられている。東芝だからこそできたのだろうが、建物が建っている位置をみても、あの場所にああいった施設があるというのは色々な意味で良いと思った。また平日だけが、横浜の子どもたちが来て自然観察をするのに役に立っているようで興味深く拝見した。今回は冬の季節だったので、また緑の多い季節にもう一度見てみたい。また、リサイクルセンターは、規模は小さいが、あまりに見事で丁寧な分別をしていて驚いた。まるで学校の給食室のような塵ひとつないところで、丁寧に手分け作業で最後の分別をしていた。それぞれの建屋で丁寧に分別されているものを更に丁寧に分別していた。例えば市役所の中でも廃棄物の分別や、その作業がどのようになっているか見てみたいと思った。

### 高橋正明委員

場所は磯子で工業地帯の中だが、ラグーンには横浜の自然度が高い場所と同じような生物、植物がいるという説明を聞いた。どんなに素晴らしいところかと思ったが、面積は意外と小さかった。しかし、工業地帯で、面積も狭い中でも、きちんと管理すれば野生の生物がいるということなので、その気になれば限られたスペースでも結構なことができるのだなという印象を受けた。磯子区には、工場が色々あるので、お互い協力すればもっともっと素晴らしいものができるのではないかと感じた。

また、当初ラグーンの敷地は、人の手が入っておらず、木がうっそうと茂ってあまり環境も良くなかったが、人の手を入れて間伐をすることによって光が入り、多様性が生まれたという話があった。ちょっとした人間の手と熱意で、かなりのことができると感じた。キンランという希少種も自生しているそうなので、これからもっと意識が高まればと感じ

た。

ゴミの分別は、野崎委員が言われたように、きちんとした分別をやっていた。燃えるゴミ、燃えないゴミ、リサイクルする紙、ペットボトル、缶は鉄と鉄以外と分けており、何でもそこまでできるのかと質問したら回答は2点だった。ひとつは横浜市が規制が厳しいということ、もうひとつは分別すればするほど資源としての価値が上がるのでリターンがあるということだった。ゴミの分別もそこまでやり込むと、メリットが出てくるということだと思った。もっと宣伝して周りに広げていけばいいのではないかと。メリットも分かりやすいし、その結果として環境も良くなるということで、本気になれば全体が良くなる見本を見せていただいた。非常に有意義な見学会だった。

### 高橋直人委員

当初は工場排水を浄化するための施設だったが、色々紆余曲折を得て、何もない埋立地に新しい自然環境を作り出した。新しい施設を作って更にそれを維持していること、また排出されるゴミを極力リサイクルして本当にゴミを減らす努力をしているのは見習うところが大きい。本来、学習というのは自分から主体的に学んでこそ身につけていくものだと思うが、それが環境部分については難しいところを考えると、ゴミを減らすために意識を変えていく教育、そしてゴミを減らさなければ費用が発生して自分たちの利益が減っていくという罰という面、教育と罰の両方の面を設けていくことも大切なのかなと今回の見学で感じた。

また今回、市の職員向けの研修ということだったので、それに関して話をさせていただくと、参加された殆どの方が環境関係の技術職の職員だったこと、開催時期の問題なのか興味の問題なのか、マイクロバスだったが参加者が少なかったのは残念だった。行き帰りのバスの中で、環境政策部や資源循環部から何かしら話があって、それが見学につながっていくともっと良くなっていくのではと思った。市の職員がそこまで行くのは難しいということであれば、例えば横須賀市にも追浜に下水処理場がありリサイクルプラザアィクルがあるので、その2つをあわせて見学をすると良いのではないかと。そういう場合でも、市では2つの施設が行うことを民間企業の東芝では一カ所でまとめて行っているという素晴らしい点をもっと広めていくことが必要だと感じた。なお、見学会ということで、ただ面白かっただけで終わらないような工夫が必要といえる。

### 高橋会長

では、最後に計画、企画いただいた鈴木副会長からお願いしたい。

### 鈴木副会長

横浜事業所に関わらず東芝グループでは大小リサイクルセンターがある。そこに常駐の方がおり、確かに委員の皆さんからもお話があったとおり、分別すればするほどお金になっ

て戻ってくるので、各建屋で分別をしてリサイクルセンターに持っていく。そこで異物が混入していると返される。企業がわざわざやっているというよりも、企業だからこそこできるはずのものだ。ただし、人の入れ替えで分別方法が分からないとか、地方企業によって出し方が若干違うということがある。また年に1回、東芝の総合環境監査があり、いろいろ環境施設があるが、リサイクルセンターを1つあげると、チェック項目が100くらいある。それを総合的に評価されて上の方に点数が伝わるのでやらざるを得ない。

また、ラグーンに、外からも生物が飛来してくるのだが、今生物多様性ということが企業にも求められており、東芝としては、昨年50拠点で地域の生物多様性の保全に取り組んでいる。横須賀についても県の許可を得て、ハマカンゾウを植え育てている。今年の夏には恐らく花が咲くと思う。明後日から市役所の1階ロビーで地元企業の製品PRで製品の展示の他にハマカンゾウのパネルを掲示する。

( 意 見 交 換 終 了 )

#### ◆議題1の要旨

(1) 平成25年度のトライアル事業「相互交流を生かした人材育成講座」について

##### 【事務局から説明】

平成25年度「相互交流を生かした人材育成講座」について、講座の内容、講師や対象者について検討し、講座案を提案する。これまでに開催した講座を参考に、提案をしてもらい、次回までに事務局でより詳細な講座案を作成する。

\*グループ討議提案議題（班分け下記）

A	高橋弘二会長、依田毅委員、宇佐美暁委員、瀧上哲治委員、内船俊樹委員
B	野崎章子委員、鈴木衛委員、高橋正明委員、高橋直人委員、原口尚延委員

#### 高橋会長

ただいま事務局から説明のあった議題について皆さんに討議していただくが、事務局からグループ討議の提案があるので、本日の進め方について、グループ討議の実施はいかがか。充実したディスカッションをするには少人数がいいと思うが、グループ討議で進めていっていいという方は挙手をお願いしたい。

(全 員 挙 手)

#### 高橋会長

それでは全員賛成なので、グループ討議に移る。2グループに分かれて進めていくが、司

会進行をやっていただける方、終わってからそのグループで話し合われた講座の案を発表していただく方、その二方を決めて討議を進めていただきたい。

(グループ討議)

(グループ討議終了)

### 高橋会長

それでは、二つのグループに分かれてグループ討議を実施したが、恐らく結論的なものはまだ出ていないと思われる。そこで現時点までで話し合われたことを紹介していただきたい。その後、最後に質問をとるかたちで説明していただきたい。

それでは、Aグループからお願いしたい。

### Aグループ (中丸 (事務局))

(具体案というかたちでシートに落とし込むようなかたちには至らなかった。)

- ・ これまでは年3回別々の講座を行っていたが、一連のものにした方がいい。
- ・ 3回で学んだ知識を次につなげる形にする。知識を伝えていくボランティアガイドの育成を目指す。
- ・ そのために必要なこととして、1回1回で解散するこれまでの形ではなく、その都度反省会やディスカッションの場を設ける。
- ・ 具体的な対象としては、すでに今活動している市民活動団体の方に、新しい視点からの知識を習得してもらおうという提案があった。
- ・ 内容としては、市内には環境に関する施設が複数あるが、そういった施設の見学や体験を単発ではなく、横断的に行うことで内容の濃い講習になるのではないか。
- ・ 施設としては例えば、長坂の沢山地区の里山的環境や、立教大学の原子力研究施設、ごみ処理施設や下水処理施設など。

### 高橋会長

Aグループで何か付け加えることはありますか。

( 特 に な し )

それではBグループの発表の後、質問を伺います。それではBグループお願いします。

### Bグループ (高橋直人委員)

(Aグループと同様まとまるどころまでは至らなかったため、話の経過を発表。)

【内容】

- ・ 教員対象の講座として、ごみや下水、浄水施設の見学を行う。これまでは自然観察が行われており、自然環境に偏りがあった。ごみや水道の知識であれば、小学校4年生の学習内容にあるので、周囲に自然環境がない学校でも授業につながる。市内には産業廃棄物の施設もあるので、産業廃棄物と一般廃棄物の違いを学ぶことができる。
- ・ 企業へ地球温暖化や、省エネを呼び掛けることも必要である。そのために先進的企業の取り組みの見学を行う。例えば東芝ライテックなど。
- ・ 風化されないように放射能の講演会などもあったらいいのではないかと。内容は専門的な難しい話でない方がよい。
- ・ 風力発電やメガソーラーの見学を行う。規模の割には発電量が少ないことを実感する。
- ・ 温暖化のキーワードで、省エネルギー、再生エネルギーなどを関連付けた講演。
- ・ 田植えなどの体験学習を行う。他県まで修学旅行へ行って田植えを行っている話も聞いているので、市内でできる場を設ける。体験学習は植林や森林再生も含む。見るだけでなく、実際に体験できる事が大切。地元での体験学習は、地産地消や自然再生につながる。

(まとめ)

- ① 産業廃棄物処理
- ② 上下水道、施設見学と仕組み
- ③ 温暖化対策。省エネ、再生エネルギーを扱う。
- ④ 自然再生に関する現場見学、これは植林であったり森林再生、田植えであったり、海なら「ひじき採り」。
- ⑤ 先進企業見学。日産、ビクター、住友、東芝などの企業。
- ⑥ 原子力関連。施設見学と講演。

#### 【対象】

- ・ 教員に対して多く機会を設けるべきではないか。これまでは1回だったが、2回に増やしても良いのではないかと。また、教員だけでなく、市民団体等も同時に対象として行えば、教員と市民団体とのつながりや関係がつけられる。

#### 高橋会長

それでは2つのグループから、話し合われたことの発表があったが、質問やご意見がありましたらお願いしたい。

#### 野崎委員

Bグループで学校の先生方を対象にした講座をと説明していただいたが、私は特に自然の体験学習などでは幼児への環境学習をどうしていくのか、小学校の先生達だけではなく、幼児教育に関わっていらっしゃる方々も引き入れて、声を掛けたらいいと思う。

### 高橋会長

今回皆さんにディスカッションしていただいたのは「相互交流を生かした人材育成講座」になる。相互交流による自然観察会や、相互交流による講習会、シンポジウムではなく、人材育成が目的となる。野崎委員から発言があったが、子どもたちや幼児の教育ではなく、幼児の教育をする人たちをいかに育てていくかという点のプログラムをこれから考えていかなければいけないということだと思う。

### 鈴木副会長

Bグループでは、できる・できないに関係なく今考えられる色々な講座を提案したことを補足したい。

### 高橋正明委員

人材育成講座の本格的な実施は平成26年度からであるので、今年度まではトライアルということで、どんな講座があるのか、幅広く考えてみた結果として、今発表した六つのテーマを出した。その中で学校の先生を対象とした講座は大切なので、そこを増やしたいという声があった。今年度は色々なテーマから幅広くやって、その中から本当のテーマとして大事なものをだんだん絞り込んでいって、来年度から継続していくといいかと思う。そうしていくと、カリキュラムもよりきちんとしてくるのではないか。人材を養成するために、どういうステップでやっていくとか、3回なのか、例えば集中的に5回ほどの講座でレベルアップを図るとか、そういったことも含めてトライアルの成果を反映させていくといいと感じた。

### 高橋会長

今日の話し合いをもとにして事務局でまとめていただくことになるかと思うが、事務局の方から何かあるか。

### 笠原主査(事務局)

貴重なご意見をいただいた。今回トライアル事業という名称からいけば、Aグループで出た意見はまさしくこれから目指していくかたちではないかと思う。これをどのように平成25年度に実施していくかは、いただいた意見を参考に、次回の会議の前までには案を出させていただければと思う。

### 高橋会長

それでは議題2に移る。

( 議 題 1 終 了 )



## ◆議題2の要旨

(2) 平成25年度環境教育・環境学習の学校向け事業紹介資料について

### 【事務局から説明】

毎年4月に小・中学校各校長会と総合的な学習の時間研究会で行っている環境企画課の事業紹介資料「平成25年度『環境学習』ラインナップ」について、内容を確認していた  
だき、効果的な周知方法を検討する。

### 高橋会長

資料別添①のイベント⑦よこすか環境フォーラム2014で、「子どもたちががんばった野菜づくりや動物飼育など、環境をテーマにした活動の発表や展示を行う学校(クラス)を募集します」ということだが、これについて具体的にどこにも書いていない。12ページは先日行われた発表の内容であって、ここに書かれた趣旨のようなことは、これに付け加えるのか。

### 笠原主査(事務局)

この資料の作りとしては、最初の1ページで全体のイメージをつかんでいただいて、更に詳細や過去の事例などを後ろで説明しているというかたちなので、会長の言われた⑦については今のところ、このままの予定になる。

### 高橋会長

そうすると、来年の環境フォーラムは、この内容についての発表や学校を募集することになるが。

### 高橋(事務局)

平成24年度の場合は、よこすか環境フォーラムや環境ポスターコンクールの募集については、またその時期になりましたらお知らせするとお伝えしていた。

### 高橋正明委員

それも含めて議論していけばいいのではないだろうか。この内容はおかしいからもう少し直した方がいいとか。

### 高橋会長

募集を行うのであれば、ここにある程度の考え方を示さないといけないのではないか。ただ、今の段階でここまで示していいのか。本文の内容は24年度行われた報告が中心と見受

けるが。

#### 内船委員

今のことに関連してですが、⑥のECO大賞が、「9月から10月に募集を行います」ということで、また後日、改めて詳しいことを言いますよとアナウンスをして、⑦の環境フォーラムについては、同じように、また詳しい募集要項などを出しますと掲示されていれば問題ないのではないのでしょうか。

#### 高橋会長

その時にここまで具体的なことを今、書いていいかどうか。

#### 鈴木副会長

今、書く文章ではないということか。

#### 高橋正明委員

確認だが、今日議論していくテーマは「内容を確認していただき、効果的な周知方法を検討する」ということになっているのだが、この別添①については、各学校にこの内容で資料を送付するという案としてこれがあるという理解でよろしいか。

#### 笠原主査(事務局)

はい。

#### 高橋正明委員

そうすると、今議論のある内容についても、全く昨年と同じでいいということも含めて、検討する範囲に含まれるということでもいいか。

#### 笠原主査(事務局)

今、会長が言われたような意見で、このまま学校に出すのは具体的過ぎるのではないかという点や、資料の見た目に関するアイデアもあるかと思う。高橋正明委員から確認があったように、本日の資料をもとに校長会に出向き、今年度取り組む事業の紹介として、学校長へこのままお渡しする。今、お話いただいた⑦につきましては具体的過ぎる印象があるので、⑥の表現のようにあわせたい。

#### 高橋会長

本日は時間が足りないので、委員の皆さんにもう一度見ていただきたい。何かあったらいつまでに連絡すればいいか。

**笠原主査(事務局)**

学校に行くのは4月に入ってからになるので、今月末までにご連絡いただきたい。

**高橋会長**

それでは、もう一度目を通して今月末までに、ご意見なり提案があれば事務局へ連絡をお願いしたい。その他何か質問等があればお願いしたい。

**原口委員**

事例集も一緒に学校へ配付するのか。

**笠原主査(事務局)**

はい。学校に出向いて行ったときに説明するのは、この事例集とラインナップの2つを持っていく。すべてを説明するのは時間的に無理なため、実際にはラインナップを中心に説明を行う。事例集も併せて配付を行う。

**原口委員**

各学校へ配付されるということでいいか。

**笠原主査(事務局)**

各学校へ配付する。

**高橋会長**

他にはよろしいでしょうか。それでは審議事項2を終了する。

( 議 題 2 終 了 )

**◆その他**

**高橋会長**

最後に事務局の方から連絡をお願いします。

**笠原主査(事務局)**

事務連絡が3点ございます。

1点目は第11回会議について、次回の会議開催は5月を予定している。詳細についてはまたご連絡させていただく。

2点目は、環境教育・環境学習ネットワーク会議は来年度委員の改選の年となる。実際に

は今年の8月を予定している。改選につきましては次回5月のネットワーク会議でご案内させていただく予定でいる。

3点目として、先日皆様にご確認をお願いした「よこすかECO通信」第8号の最終確認をお願いしたい。ご意見があれば、期間が短くて申し訳ありませんが、3月14日までにご連絡をお願いしたい。データもこちらの方から送付させていただく。事務局からの連絡は以上。

#### 高橋会長

それでは皆さんから何か質問や情報提供があれば、発表していただきたい。

#### 高橋直人委員

社会教育の分野でも生涯学習センターにおいて、市民向けの市民大学で環境関連の講座を行っているため、参考までに募集要領をお持ちした。

#### 高橋正明委員

市民大学の募集要項は、締切は今日までとなっている。但し、余裕があれば受け付けるということだが、余裕があるのはどこの講座か。

#### 高橋直人委員

現在、4番「再生エネルギーの時代がやってきた」、5番「津波のメカニズムと備え」に余裕がある。ちなみに、市民大学の今回の講座は「さきがけ講座」と言う。3月下旬から、市民大学の前期講座の20講座程度の募集を行うが、4月はどこでも開講が少ないということもあり、少ない期間に講座を提供している。

#### 高橋会長

原口委員、研究所からの情報提供はあるか。

#### 原口委員

昨年度の相互交流講座の放射線の内容がかなり難しかったということだが、今年度、研究所でも放射線の講師を呼んでいる。直接講座に参加はしなかったのだが、今後講座を行う際に情報提供ができるかもしれない。

#### 高橋会長

博物館はいかがか。

#### 内船委員

博物館は今年「タマムシ」という昆虫を展示する予定がある。昆虫少年だけではなく、きれいなものが好きな方にも来ていただけるよう努力しているので、また情報をご提供できたらと思う。

#### **高橋会長**

それでは、長時間に渡りまして熱心な議論ありがとうございました。本日の会議はこれで終了とする。